

平成24年度  
実施事業

事務事業名 橋梁長寿命化計画策定事業

区分	No	名称					
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち					
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる					
施策	1	総合的な交通網の整備					
小分類	1	道路網の整備・適正な維持管理					
主要な施策	3	③生活道路の改善・適正な維持管理					
事務事業番号	018	事業開始年度	平成 22 年度	事業終了年度	平成 25 年度	会計種別	一般会計

部 名 都市整備部      グループ名 土木グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	高齢化橋梁の増大が見込まれる状況を踏まえ、橋梁の健全度を把握するための点検を行い、修繕等の計画を策定することにより、橋梁の長寿命化を図り、歩行者及び通行車両の安全確保することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	全体計画橋梁数 N=115橋(補助108橋、単独15橋)  平成24年度 ・橋梁点検 15橋(単独) ・計画策定 108橋
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	橋梁点検結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	道路法

事業費(財源内訳)の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 社会資本整備総合交付金	千円	1,137	1,386			
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	932	3,392	2,300		
事業費合計			2,069	4,778	2,300	0	0

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 橋梁点検	橋	目標値	71	14			
			実績値	66	15			
	② 計画策定	橋	目標値		100	15		
			実績値		108			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
橋梁の老朽化に伴い、近い将来補修や架替えに多額の費用が必要になることが予想される。	橋梁の補修や架替えを計画的に推進する「長寿命化修繕計画」を策定し、維持管理コストの縮減を図る。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市が管理する橋梁の改修、維持補修に向けた修繕計画策定であり、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 高齢化橋梁の増大が見込まれる状況を踏まえ、橋梁の健全度を把握するための点検を行い、修繕等の計画を策定することにより橋梁の長寿命化を図る。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、将来の改修工事費、維持補修費にかかる事業費のコスト縮減が図られる。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応により、橋梁の長寿命化によるコスト縮減が図られる。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>終了</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	平成25年度を持って本事業は終了するため。
-----------	----------------------	-----------------------

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>終了</b>	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>終了</b>	備考	
-----------	----	--

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)